

平成30年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------------|--|----------------|------------|
| 事業所番号 | 1495500199 | 事業の開始年月日 | 平成27年11月1日 |
| | | 指定年月日 | 平成27年11月1日 |
| 法人名 | 株式会社 日本アメニティライフ協会 | | |
| 事業所名 | 花物語みやまえナーシング | | |
| 所在地 | (〒216-0034) 川崎市宮前区梶ヶ谷1483-1 | | |
| サービス種別 定員等 | <input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 | 登録定員 | 名 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護 | 通い定員 | 名 |
| | | 宿泊定員 | 名 |
| | | 定員計 | 18名 |
| | | ユニット数 | 2ユニット |
| 自己評価作成日 | 平成31年2月10日 | 評価結果 市町村受理日 | 令和1年6月11日 |

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

花物語みやまえナーシングは、東急田園都市線宮前平駅よりバス5分程度。金山バス停からは徒歩3分のところにあり静かな住宅街の中にあります。
花物語みやまえナーシングは、建物内に看護小規模多機能型居宅介護を併設し、日中は毎日看護師による医療処置が受けられます。そのため、インスリン処置を継続している方なども入居できます。また、看護師による歩行訓練なども行っているため、体力維持や自立度の改善も見られます。毎週水曜日には、包括支援センター主催の「せんにち草体操」が行われ、地域の皆様との交流の場になっています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------------------------|---------------|----------|
| 評価機関名 | 株式会社フィールズ | | |
| 所在地 | 251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階 | | |
| 訪問調査日 | 平成31年3月14日 | 評価機関 評価決定日 | 令和1年6月1日 |

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、東急田園都市線宮崎台駅か梶ヶ谷駅から徒歩20分、または、宮前平駅から川崎市営バス「井田営業所方面」行きか、東急バス「野川台方面」行きバスで約5分乗車し、「金山」バス停下車徒歩3分です。閑静な住宅地にあるグループホームです。法人は横浜市にある株式会社です。

<優れている点>

建物内に同一法人の看護小規模多機能型居宅介護事業所があり、日中は医療的処置が受けられ、朝食・昼食・夕食時何時でもインシュリンの投与が可能です。また、看護師による歩行訓練も実施しています。地域包括支援センター主催の「せんにち草体操」を毎週事業所駐車場で行っているなど、利用者の体力維持や自立度の改善に役立っています。管理者を始め職員は外出する機会を多くしようと、企画書を作り行事を実施し、結果を報告しています。

<工夫点>

災害対策用備蓄食料や飲料水などは賞味期限を含め、法人で一括管理をしています。食事、薬、睡眠、排尿、排便を時系列に、様々な介護記録1日分をA4一枚の表裏で記載できる様子を工夫し利用しています。利用者それぞれの居室の入り口に切り絵を飾っています。また、ドアに防災用の暖簾を下げている人もいます。ウイルス除去用の加湿器も使用していますが、湿度が下がった時には、ヤカンで蒸気を出すなどして快適さを保っています。職員から死角となる場所にミラーを設置し見守っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

| 評価項目の領域 | 自己評価項目 | 外部評価項目 |
|------------------------------|--------|--------|
| I 理念に基づく運営 | 1～14 | 1～7 |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | 15～22 | 8 |
| III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | 23～35 | 9～13 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | 36～55 | 14～20 |
| V アウトカム項目 | 56～68 | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業所名 | 花物語みやまえナーシング |
| ユニット名 | 1階 |

| V アウトカム項目 | |
|---|--------------------------------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> 1, 毎日ある |
| | <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある |
| | <input type="radio"/> 3, たまにある |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |

| | |
|--|--------------------------------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と |
| | <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと |
| | <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように |
| | <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある |
| | <input type="radio"/> 3, たまに |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> 1, 大いに増えている |
| | <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている |
| | <input type="radio"/> 3, あまり増えていない |
| | <input type="radio"/> 4, 全くいない |
| 66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が |
| | <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が |
| | <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。 | 理念を施設各所に張すとともに、利用者の個別ケアの対応に照らし合わせ、実践の中できめ細かな支援につなげています。そのため、ケアプランに反映され実施記録で確認されています。 | 法人の理念と、開設時に職員全員で作成した事業所の理念を額に入れ、玄関、各フロア、面会室などに掲示し、周知しています。職員は理念を踏まえ、「家庭的な雰囲気の中で、お一人お一人に寄り添った支援」を行っています。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 民生委員や町内会・老人会などの活動が活発で、施設でも様々な行事に参加する機会を得て交流しています。また、当施設駐車場では、包括支援センター主催で毎週水曜日『せんにち草体操』が行われ、地域住民が多数参加する中で利用者との交わりも生まれています。 | 町内会主催の盆踊りや福祉祭りで、会場設営や売店の売り子業務の依頼があり、職員が利用者と一緒に参加しています。事業所が夏に開催する都築太鼓のイベントに、地域住民を招待し、50名以上の参加を得ています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 『運営推進会議』や『せんにち草体操』では、包括支援センターや民生委員・地域住民の皆様から、個別の相談を受けアドバイスや適切な相談先の案内を随時行っています。時には一緒に同行したり案内をすることもあります。また、イベント交流や施設見学も行っています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議では、地域との関わり方や地域で行っている行事、会議など多岐にわたり、ご意見を頂戴し参考にしています。困難ケースなどでは事例として話し合い、アドバイスだけではなく実際に協同して解決したケースも多数あります。 | 利用者や家族、区役所職員、地域包括支援センター職員、家主をメンバーとして、2ヶ月ごとに年6回開催しています。入居状況、事故、行事、研修などの近況を報告し、質疑応答、意見交換を行い、地域の情報提供も受けています。 | 地域包括支援センターや家主の協力も得て、町内会々長や民生委員の出席要請をしています。引き続き出席に向けた取り組みも期待されます。 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | 地域包括支援センターや高齢者支援課へ定期的に訪問し、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしています。困難ケースは相談して解決しています。また、包括支援センター主催の会議等で、盛んに情報交換も行っています。 | 宮前区保健福祉センター高齢・障害課に、運営推進会議の出席依頼で2ヶ月に1回訪問しています。1階の看護小規模多機能型居宅介護事業所への利用者の受け入れ依頼があり、訪問するケースもあります。宮前区のバザーや市の研修に職員が参加しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、指導を行っています。ミニカンファレンスを都度行い、拘束しないケアの検討を行っています。また、玄関の施錠も、入居者様の思いに気づき、ご希望に応じて職員と共に外出しています。 | 身体拘束廃止に関する指針を策定をしています。職員に、スピーチロックを含む「身体拘束防止の取り組み」の研修を行っています。「身体拘束廃止未実施のための委員会」を設置し、2ヶ月に1回開催して、運営推進会議で報告しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 研修では、虐待になりうるケースの事例を話し合い、理解を深めています。また、虐待を見過ごさない意識教育に努め、虐待に敏感な施設風土を育てています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 施設内では研修や学習の機会を設け、必要なお家族へは制度の説明も行っています。介護にかかわる職員として必要な権利擁護の知識を理解できる機会を研修計画に盛り込んでいます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 丁寧かつ、分かりやすい説明に努め、質問の時間を十分に設け、疑問には納得が得られるよう具体的に説明しています。分かりにくい場面では具体的な事例を上げきめ細かく説明しています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 運営推進会議や、面会時・随時の電話連絡の時に、ご家族の意見を頂いています。また、玄関内には、気軽におご意見を頂戴できるBOXを設けています。これらをスタッフ会議や随時の対応の中で反映しています。 | 家族の意見・要望は、来訪時や電話のほか、運営推進会議や「ご意見箱」、独自のアンケートでも把握しています。苦情は、苦情対応マニュアルに基づき対応しています。対応策や再発防止策などは、職員会議で論議し共有しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 定期的な面談や職員会議では、意見や提案が出しやすい場を設けて、積極的に意見や提案を受けています。いつでも気軽に発言できる環境づくりに努めています。提案に応じて即答できない案件は、専門職や各会議などで議論して反映しています。 | 年1回の個人面談や、毎月の職員会議で、職員の意見・提案を聞いています。個別相談も随時実施しています。夜間の面会者がいて業務に支障があるという意見を受け、面会時間に関する案内を家族に送付した事例があります。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 契約更新時には個人面談を行い、就業時間や社会保険加入、社員登用の希望を把握し、希望者には随時、資格取得支援制度を勧めています。また、将来の目標を確認しモチベーションアップにつなげています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。当社の資格取得支援制度（奨学金制度）を周知し個別に対応しています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | グループホーム連絡会の参加や、外部研修などで同業者との情報交換やネットワークを構築しています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前の面談で丁寧に要望を聞き取り良好な関係性を持てるよう努めています。入居者様の生活歴や大切にしていることをケアプランに反映させ、その人に応じた関わり方をしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ご家族が困っている事や不安材料などを丁寧に聞き、ご本人の様子は、面会時に電話でお伝えしています。また、会話を増やすことで話しやすい関係づくりに心掛けています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | アセスメントを行い、様々な環境や希望の把握に努めています。状況に応じたサービスを適切に対応するため専門職と共同で進めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ご本人の意思を大切に、能力に応じた関わり方ができるよう努めています。レクを通して仲間同士の助け合いや、日常の家事などのお手伝いをいただいています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ケアプランを共有し、ご家族様と施設で、誕生日や敬老会・外出イベントなど、連携を取り楽しみの支援をしています。情報共有に努め共に協力しながら支援しています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ご利用者様がご家族と話したくなった時は、会話や様子から思いをくみ取り、電話や面会などで逢いたい人に会えるようつないでいます。また、ご家族との外出の機会が増えるよう、誕生日の外出計画で馴染みの場所の提案を行っています。 | 馴染みの人や場所の把握は、家族や入居前のケアマネジャーからの情報も活用しています。遠方から手紙が届き、本人に確認したところ親友との話があり、家族に確認の上で親友に電話をかける支援をした事例があります。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 体操・歌・手芸・映画などを楽しんでいます。フロアをこえた交流が生まれ馴染みの関係が育まれています。食席などは馴染みの関係を考慮して楽しい時間が過ごせるよう対応しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 一度ご縁の出来たご家族様へは、定期的にイベントのご案内やお便りを郵送しています。高齢になったご家族様からのご相談には気軽に応じて支援しています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご家族様からのお話やご利用者本人の日常の会話から、意向や希望をくみ取り、朝食ではパンを提供したり、おやつに果物を出すなど希望を取り入れています。 | 利用者の思いや意向の把握は、日頃の会話、特に入浴中の会話を重視しています。言葉にしづらい思いは行動や表情などから汲み取り把握しています。意向の把握が困難な場合は、アセスメント情報を活用して把握し、職員間で共有しています。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 担当ケアマネジャー及び、ご家族様やご本人から生活歴を聞き取り職員間で共有し、できるだけ今までの暮らしが継続できるよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | アセスメントやモニタリング申し送りなどから、利用者の現状をしっかりと把握し、サービス担当者会議では各担当からの意見も参考にしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 担当者会議やモニタリング・アセスメントから、本人や家族の意向をくみ取り介護計画書を作成、職員間で共有しています。 | 介護計画は、家族や看護師、医師の意見などを踏まえて作成しています。実施状況は毎日、介護記録表で確認しています。モニタリングは3ヶ月ごとにフロア担当者が実施し、計画の見直しは6ヶ月ごとに行っています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個人記録に、時間ごとのご様子や、ご利用者様の言葉や様子、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、ケアプランへ反映しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援やご希望にあわせての医療マッサージの調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 『せんにち草体操』や地域の行事参加からの縁で複数のボランティアさんが来ています。大正琴やフラダンスなど楽しみの支援をお手伝いいただいています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月2回の定期往診を行っています。心身の状態について、ご家族や主治医と常に連携を取り適切な医療が受けられるよう支援しています。また、ご家族との希望を受け馴染みのかかりつけ医への受診などの付き添いを行うこともあります。 | 入居時に本人や家族に説明して提携先医療機関への変更を依頼しています。今までと同じかかりつけ病院を受診したい場合は、原則、家族の付き添いとなっています。急を要する時には事業所で付き添う場合もあります。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入し情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげていきます。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は介護/看護サマリーや、往診医からの紹介状を提供し情報提供に努めています。お見舞いやムンテラ参加などで病状に沿って、関係者と相談の上、ご家族の意向を確認しながら支援しています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気については早い段階で、ご家族にと十分に話し合い、主治医と連携を取り、必要に応じてカンファレンスを行っています。急変時対応マニュアルに沿って支援できるよう職員間で共有しています。 | 「看取りに関する指針」を作成し、入居時に「看取り期における医療等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」を取り交わしています。看取りの実績もあります。職員は看取りに関する研修を受講し、利用者の心身のケア・サポートに努めています。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見から、その後の対応や報告が迅速に行えるよう研修の場を設けています。適時、事例を課題に実践力アップに努めています。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 定期的に川崎市宮前消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。地域住民とは日頃のつながりから協力体制が築かれています。 | 自衛消防隊を組織し、消防計画を作成して、年2回、日中と夜間想定避難訓練を実施しています。備蓄品の食料や飲料水、器具や備品は賞味期限を含め一括して法人が管理して送ってくる仕組みになっています。家主の努力により地域との協力が得られています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 人生の大先輩として常に敬意を持って接しています。生活暦を考慮し、排泄介助や入浴介助などの時には、介護者としての立ち位置や目線に十分な注意を払い、配慮ある声掛けを行っています。 | 職員は「個人情報保護マニュアル」に則り利用者に敬意を払った対応を心がけて支援しています。入浴に同性介助を希望する人には配慮しています。失禁などの場合、他の利用者に気付かれないよう細心の注意を払っています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日常的に10時、15:00のお茶は自分で選べるよう工夫しています。入浴後の着替えの洋服や飲み物についても自分で選べるよう声掛けを行っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 起床時間、就寝時間は、長年の生活の中で個人差があります。一斉に同時刻で進めることせず、その人らしい暮らし方に合わせて支援しています。入浴にかかる時間や食事のペースも尊重し、無理な促しは行いません。自由に居室へ行き来して好きなことを楽しんでいます。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣服を選んでいます。季節やTPOに合った身だしなみができるよう職員からの声掛けも行っています。また、ご家族と相談して、衣類の買い物と一緒に出掛けています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 洗濯たたみや下膳などは、お好きな方と一緒にを行っています。食事レクレーションでは、作り方を教えてもらったり、自ら作業をして楽しくおいしく食べられるよう工夫しています。 | 食材と献立表は定期的に外部業者から配達されます。利用者はテーブル拭きや消毒、下膳などできることを手伝っています。誕生日や行事食でファミリーレストランを利用したり、車で買い出しに行ったり、出前の寿司を注文したりすることもあります。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養士によるバランスの摂れたメニューにより食事を提供しています。個人の状態に合わせ、ご飯の量や汁物の量を変えています。また、適切な飲水量が確保できるように、定時でご本人の嗜好に配慮した飲み物などを提供しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 自分でできる人が、歯ブラシやコップなどを取りやすいように、籠に入れ取りやすい場所に置いています。また、必要に応じて声掛けや、介助を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 尿意や便意の訴えに気づき、見守りや誘導を行っています。内容誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。 | 日々の時間帯の介護記録から、職員は利用者ごとの排泄パターンを把握しており、訴えや仕草に気付くとさり気なく誘導しています。特定の場所から死角となる場所の様子はミラーを取り付けて見守っています。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 食事内容や水分量を把握し、排泄の記録を残す事で便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ工夫（ヨーグルトや寒天使用）を行っています。定時で適切な運動も取り入れ予防に努めています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴剤を使用し温泉気分を演出しています。体の状態や様子に配慮し声掛けを行っています。拒否がある場合は時間をずらしたり、介助者を変えたり、気分が変わるよう工夫しています。必要に応じて足浴や清拭に変えて支援することもあります。 | 利用者は週に2～3回入浴するようにしています。入浴時にはリラックスして会話が弾むように支援しています。入浴剤を使用したり、季節の菖蒲湯やゆず湯も行っています。早番の職員が風呂場の清掃を担当しています。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、状態観察から、休息の声掛け誘導を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動内容も考慮し支援しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 日常的に薬剤情報を確認し、服薬の支援を行なっています。往診記録の回覧から薬の変更を周知して、様子観察を行います。また、状態の変化があれば随時看護師に報告し医療に繋がります。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 得意な家事や楽しみの支援を中心に、自らしたいことを決定できる暮らしを支援しています。何かをすると、職員や周りのひとから感謝される。喜んでもらう。メリハリのある楽しい暮らしを送れるよう支援しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 可能な方は、ご家族対応も含め外出しています。車いすの方や歩行困難な方は、天候の良い時に玄関前に出て花を楽しんだり、洗濯干しに同行していただいています。玄関前でのレクリエーションやお茶会も楽しみ時間となっています。 | 天候や気候の良い時にはできるだけ外出するようにしています。事業所を1周するコースの散歩や、法人所有の送迎車を利用し、大型レジャーランドや宮崎台駅周辺の花見に行ったり、科学館見学や川崎駅の商業施設に行くこともあります。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 金銭管理は主に事務所でっており、使った額を立替制度で請求させていただいています。ただし、ご希望に応じ家族管理の下、小額のお金を所持していただくことができます。また、都度にお金を渡し自販機や100均などの買い物をする機会もあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 要望があれば、電話ができるように支援をしています。また、手紙のやり取りができるようハガキや切手を用意して、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 玄関やリビングに季節の花を飾り季節感が感じられるよう工夫しています。ウイルス除去加湿空気清浄器を備え、毎日、湿度や温度管理をこまめに行っています。玄関は靴の脱ぎ履きに十分な広さがあり足の悪い方もゆっくりすわって行うことができます。 | 共用空間の玄関や廊下、居間に季節の花や絵を飾っています。エアコンや加湿除菌型の空気清浄器を使用し、快適な温湿度を保っています。湿度が不足気味な時にはヤカンで蒸気を出して補っています。夜勤の職員が共用空間の清掃を担当しています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 入居者各々が、自由に気の合う入居者の居室に出入りして交流しています。また、自室で絵を書いたり、音楽を聴いたり自由に過ごすこともできます。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。 | エアコン、ベッド、洋タンスは備えられています。それ以外の馴染みの持ち物を持ち込むことで心身の安定を図るようにしています。テレビや家族の写真、位牌、趣味の道具など、様々な物を持ち込んでいます。好みの暖簾を下げている人もいます。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみなどができます。それぞれの状態に合わせ食席などを考慮しています。トイレや居室などへの動線を考え自立した生活が送れるようきめ細かく支援しています。 | | |

| | |
|-------|--------------|
| 事業所名 | 花物語みやまえナーシング |
| ユニット名 | 2階 |

| V アウトカム項目 | |
|---|--------------------------------------|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない |
| 57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | <input type="radio"/> 1, 毎日ある |
| | <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある |
| | <input type="radio"/> 3, たまにある |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |

| | |
|--|--------------------------------------|
| 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と |
| | <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと |
| | <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない |
| 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | <input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように |
| | <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある |
| | <input type="radio"/> 3, たまに |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどない |
| 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | <input type="radio"/> 1, 大いに増えている |
| | <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている |
| | <input type="radio"/> 3, あまり増えていない |
| | <input type="radio"/> 4, 全くいない |
| 66 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12) | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が |
| | <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が |
| | <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |
| 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | <input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が |
| | <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが |
| | <input type="radio"/> 4, ほとんどいない |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。 | 理念を施設各所に張すとともに、利用者の個別ケアの対応に照らし合わせ、実践の中できめ細かな支援につなげています。そのため、ケアプランに反映され実施記録で確認されています。 | | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。 | 民生委員や町内会・老人会などの活動が活発で、施設でも様々な行事に参加する機会を得て交流しています。また、当施設駐車場では、包括支援センター主催で毎週水曜日『せんにち草体操』が行われ、地域住民が多数参加する中で利用者との交わりも生まれています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。 | 『運営推進会議』や『せんにち草体操』では、包括支援センターや民生委員・地域住民の皆様から、個別の相談を受けアドバイスや適切な相談先の案内を随時行っています。時には一緒に同行したり案内をすることもあります。また、イベント交流や施設見学も行っています。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議では、地域との関わり方や地域で行っている行事、会議など多岐にわたり、ご意見を頂戴し参考にしています。困難ケースなどでは事例として話し合い、アドバイスだけではなく実際に協同して解決したケースも多数あります。 | | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。 | 地域包括支援センターや高齢者支援課へ定期的に訪問し、運営推進会議や施設見学会の情報をお伝えしています。困難ケースは相談して解決しています。また、包括支援センター主催の会議等で、盛んに情報交換も行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 『身体拘束ゼロの手引き』をもとに、指導を行っています。ミニカンファレンスを都度行い、拘束しないケアの検討を行っています。また、玄関の施錠も、入居者様の思いに気づき、ご希望に応じて職員と共に外出しています。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 研修では、虐待になりうるケースの事例を話し合い、理解を深めています。また、虐待を見過ごさない意識教育に努め、虐待に敏感な施設風土を育てています。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 施設内では研修や学習の機会を設け、必要なお家族へは制度の説明も行っています。介護にかかわる職員として必要な権利擁護の知識を理解できる機会を研修計画に盛り込んでいます。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 丁寧かつ、分かりやすい説明に努め、質問の時間を十分に設け、疑問には納得が得られるよう具体的に説明しています。分かりにくい場面では具体的な事例を上げきめ細かく説明しています。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 運営推進会議や、面会時・随時の電話連絡の時に、ご家族の意見を頂いています。また、玄関内には、気軽にご意見を頂戴できるBOXを設けています。これらをスタッフ会議や随時の対応の中で反映しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 定期的な面談や職員会議では、意見や提案が出しやすい場を設けて、積極的に意見や提案を受けています。いつでも気軽に発言できる環境づくりに努めています。提案に応じて即答できない案件は、専門職や各会議などで議論して反映しています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 契約更新時には個人面談を行い、就業時間や社会保険加入、社員登用の希望を把握し、希望者には随時、資格取得支援制度を勧めています。また、将来の目標を確認しモチベーションアップにつなげています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。 | 社内研修の定期的な実施や外部研修への参加・資格取得を推奨するなど、個々のスキルの向上を働きかけています。当社の資格取得支援制度（奨学金制度）を周知し個別に対応しています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。 | グループホーム連絡会の参加や、外部研修などで同業者との情報交換やネットワークを構築しています。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 入居前の面談で丁寧に要望を聞き取り良好な関係性を持てるよう努めています。入居者様の生活歴や大切にしていることをケアプランに反映させ、その人に応じた関わり方をしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。 | ご家族が困っている事や不安材料などを丁寧に聞き、ご本人の様子は、面会時に電話でお伝えしています。また、会話を増やすことで話しやすい関係づくりにも心がけています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | アセスメントを行い、様々な環境や希望の把握に努めています。状況に応じたサービスを適切に対応するため専門職と共同で進めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。 | ご本人の意思を大切に、能力に応じた関わり方ができるように努めています。レクを通して仲間同士の助け合いや、日常の家事などのお手伝いをいただいています。 | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。 | ケアプランを共有し、ご家族様と施設で、誕生日や敬老会・外出イベントなど、連携を取り楽しみの支援をしています。情報共有に努め共に協力しながら支援しています。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | ご利用者様がご家族と話したくなった時は、会話や様子から思いをくみ取り、電話や面会などで逢いたい人に会えるようつないでいます。また、ご家族との外出の機会が増えるよう、誕生日の外出計画で馴染みの場所の提案を行っています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。 | 体操・歌・手芸・映画などを楽しんでいます。フロアをこえた交流が生まれ馴染みの関係が育まれています。食席などは馴染みの関係を考慮して楽しい時間が過ごせるよう対応しています。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。 | 一度ご縁の出来たご家族様へは、定期的にイベントのご案内やお便りを郵送しています。高齢になったご家族様からのご相談には気軽に応じて支援しています。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | ご家族様からのお話やご利用者本人の日常の会話から、意向や希望をくみ取り、朝食ではパンを提供したり、おやつに果物を出すなど希望を取り入れています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 担当ケアマネジャー及び、ご家族様やご本人から生活歴を聞き取り職員間で共有し、できるだけ今までの暮らしが継続できるよう努めています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。 | アセスメントやモニタリング申し送りなどから、利用者の現状をしっかりと把握し、サービス担当者会議では各担当からの意見も参考にしています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | 担当者会議やモニタリング・アセスメントから、本人や家族の意向をくみ取り介護計画書を作成、職員間で共有しています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 個人記録に、時間ごとのご様子や、ご利用者様の言葉や様子、日々の細かな情報や気づきを記録に残し、ケアプランへ反映しています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。 | 常に現状必要なサービス、今後必要になるサービスは何であるかを考え、本人と家族の関係性を考慮しながら、かかりつけ医の受診の支援やご希望にあわせての医療マッサージの調整など、必要なサービスにつなげるよう取り組んでいます。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。 | 『せんにち草体操』や地域の行事参加からの縁で複数のボランティアさんが来ています。大正琴やフラダンスなど楽しみの支援をお手伝いいただいています。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 月2回の定期往診を行っています。心身の状態について、ご家族や主治医と常に連携を取り適切な医療が受けられるよう支援しています。また、ご家族との希望を受け馴染みのかかりつけ医への受診などの付き添いを行うこともあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。 | 日々の申し送りやケアの中で、相談を行い、個人記録に記入し情報の共有を行い、適切な受診や看護につなげています。また、看護師による介護職員への指導も行っており、適切な情報の伝達が行えるよう取り組んでいます。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は介護/看護サマリーや、往診医からの紹介状を提供し情報提供に努めています。お見舞いやムンテラ参加などで病状に沿って、関係者と相談の上、ご家族の意向を確認しながら支援しています。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 指針について入居時に説明し同意を交わし、家族の意向を確認しています。病気については早い段階で、ご家族にと十分に話し合い、主治医と連携を取り、必要に応じてカンファレンスを行っています。急変時対応マニュアルに沿って支援できるよう職員間で共有しています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。 | 入社時の研修や、社内研修で急変対応や事故対応の研修を行い、発見から、その後の対応や報告が迅速に行えるよう研修の場を設けています。適時、事例を課題に実践力アップに努めています。また、不安がある職員には、個別に対応の仕方を伝えています。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 | 定期的に川崎市宮前消防署と連携し、日中の避難訓練、夜間想定訓練を実施しています。また、災害時備蓄品も備えています。地域住民とは日頃のつながりから協力体制が築かれています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|---------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。 | 人生の大先輩として常に敬意を持って接しています。生活暦を考慮し、排泄介助や入浴介助などの時には、介護者としての立ち位置や目線に十分な注意を払い、配慮ある声掛けを行っています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。 | 日常的に10時、15:00のお茶は自分で選べるよう工夫しています。入浴後の着替えの洋服や飲み物についても自分で選べるよう声掛けを行っています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 起床時間、就寝時間は、長年の生活の中で個人差があります。一斉に同時刻で進めることせず、その人らしい暮らし方に合わせて支援しています。入浴にかかる時間や食事のペースも尊重し、無理な促しは行いません。自由に居室へ行き来して好きなことを楽しんでいます。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。 | ご本人の意思や希望を尊重し、ほとんどの入居者が自分で衣服を選んでいきます。季節やTPOに合った身だしなみができるよう職員からの声掛けも行っています。また、ご家族と相談して、衣類の買い物と一緒に出掛けています。 | | |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 洗濯たたみや下膳などは、お好きな方と一緒にしています。食事レクレーションでは、作り方を教えてもらったり、自ら作業をして楽しくおいしく食べられるよう工夫しています。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養士によるバランスの摂れたメニューにより食事を提供しています。個人の状態に合わせ、ご飯の量や汁物の量を変えています。また、適切な飲水量が確保できるように、定時でご本人の嗜好に配慮した飲み物などを提供しています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。 | 自分でできる人が、歯ブラシやコップなどを取りやすいように、籠に入れ取りやすい場所に置いています。また、必要に応じて声掛けや、介助を行っています。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 | 尿意や便意の訴えに気づき、見守りや誘導を行っています。内容誘導を行っています。尿意や便意の訴えの無い方、間に合わない方は、記録により排泄パターンを把握し、時間を見計らって声掛け誘導を行っています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。 | 食事内容や水分量を把握し、排泄の記録を残す事で便秘の早期発見と予防に努めています。必要な飲水量の確保、おやつ工夫（ヨーグルトや寒天使用）を行っています。定時で適切な運動も取り入れ予防に努めています。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。 | 入浴剤を使用し温泉気分を演出しています。体の状態や様子に配慮し声掛けを行っています。拒否がある場合は時間をずらしたり、介助者を変えたり、気分が変わるよう工夫しています。必要に応じて足浴や清拭に変えて支援することもあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項 目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。 | それぞれの入居者が、自由に自分の時間を居室やフロアにて過ごしています。お一人での移動が不可能な場合は、状態観察から、休息の声掛け誘導を行なっています。夜間安眠して頂けるよう、日中の活動内容も考慮し支援しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 日常的に薬剤情報を確認し、服薬の支援を行なっています。往診記録の回覧から薬の変更を周知して、様子観察を行います。また、状態の変化があれば随時看護師に報告し医療に繋がります。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。 | 得意な家事や楽しみの支援を中心に、自らしたいことを決定できる暮らしを支援しています。何かをすると、職員や周りのひとから感謝される。喜んでもらう。メリハリのある楽しい暮らしを送れるよう支援しています。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 可能な方は、ご家族対応も含め外出しています。車いすの方や歩行困難な方は、天候の良い時に玄関前に出て花を楽しんだり、洗濯干しに同行していただいています。玄関前でのレクリエーションやお茶会も楽しみ時間となっています。 | | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 金銭管理は主に事務所でっており、使った額を立替制度で請求させていただいています。ただし、ご希望に応じ家族管理の下、小額のお金を所持していただくことができます。また、都度にお金を渡し自販機や100均などでの買い物をする機会もあります。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 要望があれば、電話ができるように支援をしています。また、手紙のやり取りができるようハガキや切手を用意して、大切な人との関わりが続けられるよう支援しています。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 玄関やリビングに季節の花を飾り季節感が感じられるよう工夫しています。ウイルス除去加湿空気清浄器を備え、毎日、湿度や温度管理をこまめに行っています。玄関は靴の脱ぎ履きに十分な広さがあり足の悪い方もゆっくりすわって行うことができます。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 入居者各々が、自由に気の合う入居者の居室に出入りして交流しています。また、自室で絵を書いたり、音楽を聴いたり自由に過ごすこともできます。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 馴染みの家具やお気に入りの写真（アルバム等）や置時計などお持ちいただき、そばに置く事により、自宅に近い感覚で、安心して居心地よく生活できるよう、ご家族と一緒に工夫をする配慮をしています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 居室の洗面台では口腔ケアや整髪、身だしなみなどができます。それぞれの状態に合わせ食席などを考慮しています。トイレや居室などへの動線を考え自立した生活が送れるようきめ細かく支援しています。 | | |

平成30年度

目標達成計画

花物語みやまえナーシング

作成日： 令和1年6 月 10日

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|------|------|---|--|---|------------|
| 1 | 65 | 地域包括支援センターや家主の協力も得て、町内会長や民生委員の出席に向けた取り組みなどが期待される。 | 毎週行われるせんにちそう体操などのお声かけや、町内会などのイベントに参加し自治会長様等への働きかけ。運営推進会議への参加をしていただく。 | 地域の交流スペース等への積極的参加。包括支援センターとの交流を深め更なる人脈を深め地域に貢献していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | | | | | ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |